

# 山陰経済新聞

発行所

山陰経済新聞社

米子市米原5丁目7番2号

TEL (0859)33-0616(代)

FAX (0859)33-0556

購読料 前金1ヵ年 25,000円

(消費税別)

郵便振替口座 01480-8-2241

毎月3回(上・中・下)発行

購読希望の方は振替口座か現金

購読でお申し込み下さい

## 高濃度コラーゲン抽出に成功

カンダ技工と産業技術センター

### 生産効率が大幅にアップ

(有)カンダ技工(中山清社長、米子市河崎)は、鳥取県産業技術センター応用技術部応用生物科(境港市野町)と共同研究し、魚のウロコから高濃度のコラーゲンを抽出する製法を開発した。従来の同社製品と比較すると、無味無臭の粉末状で大幅なコスト低減も実現した。今後大量生産に向け稼働体制を整える。

### 共同で特許申請

たものをコラーゲン分子を細く切断する方法で繊維内部

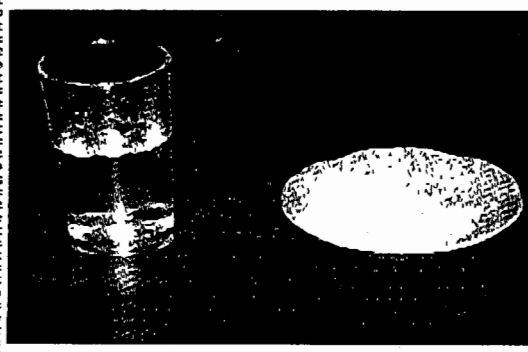
カンダ技工は三年ほど前から、魚のウロコから熱水抽出法によるコラーゲンの生産・販売を行っているが、この方法だとコラーゲン繊維の表面部分しか抽出できず一〇%程度の非効率な生産に終始していた。産業技術センター応用生物科とは今年三月から共同研究を行い、これまでは表面部分しか抽出できなかった。また新製法によるコラーゲンは、従来製品と比較す

ると、無味無臭の白色で粉末状にすることができ、分子量が低いため消化吸収にもすぐれているという。しかも原料となる魚の残滓も発生しないため環境負荷の低減にも貢献できるとしている。八月下旬に鳥取県と共に特許出願も行った。

コラーゲンは人体の細胞の活性化に必要な栄養で、健康食品や化粧品に使用されてきた。これまで牛が主な原料として活用されてきたが、近年のBSE問題か

ら豚や鶏、魚類が主流になりつつある。カンダ技工では、十月から境港工場で量産体制に入っている。生産能力は年間二十四万だが、当面の生産目標は年間十二万で、初年度売上高は約八千万円を目標としている。同社はこれまで水溶性のコラーゲンを通信販売していたが、これを機に化粧品や健康食品メーカーへの原料供給に絞ることにしている。原魚供給や販売

総代理店は(株)夢みなど貿易(小島勉社長、境港市竹内団地)が行う。現在、大手化粧品や医薬品メーカーから商談があるという。



▲左側が従来開発した水溶性コラーゲン粉末、右側が今度開発した高濃度コラーゲン抽出物。抽出効率が大幅にアップした。今度のコラーゲンの大量生産に目途がついた。

ことで地場産業の活性化につながる。同時に、境港に水揚げされる魚の有効活用の一助になると期待される。

### 生産指数、前月比

3ヵ月ぶり上昇

鳥取県7月速報

鳥取県がこのほど公表した七月の生産動向速報によると、生産指数は季節調整済指数で一・三・六と前月比一・二%のプラスとなり、三ヵ月ぶりに上昇した。バルブ・紙は事務用紙製品や紙などが増加したことと同三・八%、電気機械は電動機などが増加し同八・二%のプラスとなった。一方、ゴム製品は工業用ゴムの減少が影響し同六・七%の大幅なマイナス。出荷指数は九八・五と同三・二%、在庫指数は七四・五と同〇・七%のプラスとなった。